

< 教育活動報告 > **1 年間の教育を振り返って** 副学校長 佐藤 とも子
平成 26 年度は教員 1 名の欠員があり、授業担当、業務分担とぎりぎりまでの検討が行われての出発でした。また、途中退職があり新任教員を迎えた年でした。

そのような状況で、新入生は専門的な講義が始まりました。また、入学直後の仲間を知る宿泊研修から始まり、様々な教科外活動を通じて人との関りを学び、コミュニケーションの取り方など実習体験で自分自身を見つめる機会になっていたと思います。2 年生はさらに専門的に看護を深める講義となり、また教科外活動では中心的な役割を果たし体験することでチームワーク、リーダーシップを学んだと思います。3 年生は今まで学んだ講義、体験を現場で行動できるよう臨地実習を頑張り、国家試験を終えています。

学生にとって学業にできるだけ支障のないように努力しましたが、初めての科目の担当や、外部講師の依頼などで予定の時期より授業が遅れるなど、少なからず影響があったのではないかと思います。教員も慌しく過ごした 1 年でした。

新年度に向けての準備が始まっています。今年度多くの課題も見えました。学生にとってより良い学習環境を目指し、新年度を迎えたいと思います。

祝 卒 業 「 卒 業 生 の こ と ば 」

卒業おめでとうございます。24 名を代表して 2 名の学生からの卒業に寄せることばです。

3 年間で振り返ると、学校や実習先での沢山の思い出や患者様から学んだ様々なことを思い出します。一・二年生の頃は、なかなか実習を好きになれず、患者様中心の看護の難しさを感じ、同時にクラスメイトとの協力の難しさについても体感しました。

三年生になり、連続実習に少しずつ慣れていく中で、楽しみながらも、患者様中心の看護を提供できるようになり、クラスメイトと日々高め合いながら成長できた 1 年だったと思います。私たちは 4 月から看護師として働くこととなりますが、この学校で学んだことを忘れず、患者様に寄り添うことのできる看護師になれるよう、日々努力したいと思います。

19 期生 西田 朱里

3 年間を通して皆さんと出会ってから楽しいことや嬉しいこと、実習が辛かったことなど色々なことがありましたが、今振り返るとあっという間の 3 年間でした。

みんなと卒業できるのか、不安なときもありましたが、無事 19 期生として卒業できるのは本当に嬉しいと思い、3 年間諦めずに頑張ってきて良かったと思います。今までお世話になった家族、先生、友達、後輩にとっても感謝しています。

卒業後は看護師として新しい環境で、一番この学校で学んだ人間性を大切に、頑張っていきたいと思います。最後に、友達や後輩、先生に恵まれた 3 年間でした。ありがとうございました。

19 期生 堀江 遙

・・・ SCHEDULE ・・・ 3/1~4/10 行事・動向(含終了)

3/2(月)3年卒前研修(接遇)

3/5(木)2年成人看護学 実習終了(2/16~)

3/6(金)平成26年度富良野看護専門学校(第19期生)卒業式 謝恩会

3/19(木)春期休業(~4/1水)

3/25(水)第104回看護師国家試験合格発表

4/6(月)平成27年度富良野看護専門学校(第22期生)入学式

4/7(火)~8(水)1年生入学時オリエンテーション

4/9(木)~10(金)1年生宿泊セミナー

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

大切なメンタルヘルス・・・「心のおおらかさ」がその源!

人間は、生きる上でストレスや欲求不満が避けられず、その克服を通して心身の発達や学習・生活上の目標が達成されると言われます。誰もが日常生活の中で、工作上、人間関係、病気や事故など様々なストレスや困難に直面し、しかも不思議に「不幸は重なる」とも言われ、「なぜ自分だけが」と悩めば悩むほど気持ちが沈み憂鬱になることがあります。

そんな時、思い出したいのが、「死ぬこと以外はかすり傷」という言葉(水彩画で有名な画家の言葉との説)で、悲観的な考えを一気に吹き飛ばす「おおらかさ」が感じられます。言い知れぬ不安や恐怖、不満や葛藤の精神状態の時のために覚えておきたい心の健康のための一言かもしれません。 <参考;「メンタルヘルス通信2月号」旭川医大教授杉岡良彦>

+++

あ・ん・て・な

ANTENNA

+++

「出前講座」3中学校(1年生)で実施・・・立派な取組姿勢に感謝!

2月12日(木)に富良野西中、17日(火)に富良野東中で本校の出前講座が行われ、19日(木)には、山部中の生徒が本校を訪れ、学内見学と講座が開かれました。西中、東中では生徒から、「看護師のやりがい、辛さは?」「給料はどの位?」「寮は女子だけか?」「奨学資金は?」「認定、専門看護師とは?」「緑町から徒歩何分?」など率直な質問があり、生徒代表の挨拶でも心のコモった感想が聞かれました。また、山部中は、事前学習で多くの質問を準備し、実習室で看護体験も行うなど積極的に学んでいただきました。夢と希望のある進路選択に郷土の看護専門学校に関する学習が生きるよう期待いたします。

ささやき S&T・・・学生の 教員の みんなの声

S: 2年生、最後の実習に取り組んでいます。日々。患者さんと向き合っています。3年生に向けて、頑張れるように、今の実習でできることを行い、努力して生きたいです。

(2年K・K) S: 1年生最後の実習を終えて、3月は学科試験がたくさんあるので、これから活かせるように勉強していこうと思います。気を抜かずに1年生最後の最後まで頑張っていきたいです。(1年C・K)

T: 富良野に赴任して5か月になりました。気づくともう卒業式、そして4月には入学式です。目まぐるしい毎日ですが、学生の皆さんと関わりながら充実した毎日を過ごしています。(教員 井上 量子)